

# 小野塚東部方面総監初度視察



第1施設団及び古河駐屯地業務隊に対する総監訓示

二月二十六日、第一施設団及び古河駐屯地業務隊は、小野塚東部方面総監の初度視察を受察した。

冷え込んだこの日、体育館での出迎えから始まり、儀仗、幹部挨拶、両部隊の状況報告、一号庁舎前での記念撮影と続いた。

隊内巡視では、一号庁舎屋上において地点指示を実施した後、庁舎内の執務状況、医務室の状況を受察、駐屯地内の状況確認として第三〇一ダンプ車両中隊が駐屯地の環境整備の一環として実施している東側外柵沿い遊歩道（関連・三面第三〇一ダンプ車両中隊記事）及び北訓練場を始め、関東補給処古河支処整備工場、女性自衛官隊舎、第一〇二施設直接支援大隊整備工場等を受察した。

視察の最後となった訓示の中で総監は、統率方針である「強靱な東部方面隊の創造」を具現するため「構え」、「信頼」の二点を要望すると述べた。また、期待する事項として、「第一施設団に対しては、東部方面隊の施設力の要として迅速に対応する「即応態勢の堅持」及び国際貢献活動等における責任を自覚した「施設技術力を発揮した任務の完遂」の二点を、古河駐屯地業務隊に対しては、各駐屯地業務隊の良い点を取り込んだ「駐屯地サービスの更なる向上」及び駐屯地所在部隊・隊員が最高のパフォーマンスを発揮するために極めて重要な任務であると自覚し「誇りを持った任務の完遂」の二点を要望、併せて「強靱な東部方面隊の創造のために、一丸となって益々職務に精励することを期待する」と両部隊を鼓舞した。



隊内巡視（1号庁舎）



巡 閲



隊内巡視（北訓練場）



幹部挨拶



隊内巡視（女性自衛官隊舎）



状況報告

### 新配置隊員の紹介



団付 土屋 2士



団付 田中 2士



器材隊 近能 2士



器材隊 鈴木 2士



ダンブ 塚本 2士



ダンブ 山口曹長



高射 宮本 2士



ダンブ 福島 2士



基通 栗原 1士



高射 越智 2士



基通 中川 1士



基通 柳 1士

### 転入部隊長等及び転入者の紹介



業務隊長 築山 2佐



支処施設部長 金子 1佐



副団長 長浦 1佐



支処長 山根 1佐



幹部6名、准曹20名、事務官等4名



警務班長 秋山 2尉



器材隊長 辻本 2佐

三月二日、駐屯地体育館において、令和元年度駐屯地厚生生活活動（ソフトバレー大会）を実施し、部隊等の融和と団結及び士気の高揚を図った。勤務時間内におけるレクリエーションの実施を業務隊厚生科が方面へ申請した今回、各部隊等を実践した中、各部隊等を6チームに編成し、総当たりの予選と、トーナメント戦での決勝という形で行った。盛り上がりを見せた今大会は、第一位第一〇二施設直接支援大隊、第二位業務諸隊、第三位第一〇一施設器材隊という結果となった。三チームは、翌日の駐屯地朝礼において、駐屯地司令から賞状を受賞した。

### 駐屯地ソフトバレー大会



3月駐屯地朝礼



決勝

### 航空機体験搭乗



東部方面ヘリコプター隊による安全教育



第1フライト

二月十九日、駐屯地営庭において、自衛隊・駐屯地に対する理解を深めてもらうとともに親近感を醸成することを目的に、東部方面ヘリコプター隊の支援を受け、部外者を対象とした航空機体験搭乗を実施した。今回は、新型コロナウイルスの影響を考え、参加者には全員マスクを着用してもらう処置を行った。駐屯地からの全体教育の後、東部方面ヘリコプター隊の実施する安全教育を受け、準備を整えた参加者約六十名は、晴天に恵まれ、二月にしては暖かかったこの日、UH-1H機に分乗し、十五分間のフライトに臨んだ。参加した駐屯地モニターからは「景色が素晴らしい」といった喜びの声や「古河市は河川に挟まれた地域だと再認識した」といった防災の観点からの声も聴くことができ、目的を達成することができた。

### メンタルヘルス教育

三月二日、メンタルヘルスに関する理解を深め、カウンセリングの更なる利用促進を図ることを目的に、部外講師によるメンタルヘルス教育を実施した。公認心理師で駐屯地外部カウンセラーでもある綾部氏が講師となり、「ストレスとの上手な付き合い方」について指揮官等と全隊員を対象に分け実施した。「やりたいこと・やるべきこと・できること」のバランスを考え「受け入れよ、選択せよ、そして行動せよ」と教育した。最後に、一人か悩まず臨床心理士や部外カウンセラーに相談してほしいと締めくくり、カウンセラーの活用も促した。



全隊員に対する教育



指揮官等に対する教育

# 関東補給処古河支処

格闘訓練を展示した隊員



祝賀会食



長尺物運搬競技



重量物運搬競技

一月二十八日、フォークリフト競技会を実施した。本競技会には、フォークリフトを装備している保管分類課、技術課及び各工場の自衛官・事務官・技官計二十九名が参加し、個人及び団体戦での操縦能力を競い合った。各人は日頃の業務での操縦技術を發揮し、結果は保管分類課が総合で一位となり、工作工場・技術課の混合チームが二位となった。

この際、競技会実施前に安全教育を実施することにより、フォークリフト運転技能の向上に併せて安全意識の高揚を図ることが出来た。

二月十五日、古河補給処OB会との共催による古河支処創立二十二年記念行事を実施した。本行事は、古河補給処OB会員との親睦及び関係企業等からの協力により、理解と協力の獲得を目的に、歴代古河支処長を始め、OB古河支処各部長・関連企業等、多数の来賓を招待して実施した。

祝賀会食中のアトラクションとして、格闘訓練指導官等によるパフォーマンスや写真の撮影など、多くの見物客の注目を集めた。OB会親睦会も、招待客の参加も多かった。行事は成功裡に終了した。

# 古河駐屯地業務隊



祝賀会食

二月八日、業務隊のOB会である刀水会への参加を得て、創隊六十五周年記念行事を実施した。総会の支援に引き続き、二十三名の業務隊OBとの祝賀会食を実施し、創隊を祝うとともに、懇親を深めた。



着任 第32代 業務隊長 2等陸佐 築山幸治



離任 第31代 業務隊長 1等陸佐 熊倉弘典



不測事態対処訓練 (油流出)

一月二十七日、駐屯地内において油が流出した訓練を実施し、不測事態対処訓練を実施し、油流出時の対処要領について、その能力向上を図った。

この際、併せて駐屯地各部隊等に対し油流出時の対処要領の教育及び現地における適切な対処要領について普及・徹底した。

三月十三日、第三十一代業務隊長熊倉一佐の離任式を執り行った。熊倉一佐は「支援任務の完遂(すべて)は隊員・部隊のために」とを統率方針に、「一センチでも、一步でも高みを目指せ」「使命と誇りを持つ」「要望事項に掲げ、有事即応態勢の保持、駐屯地サービスの向上に貢献した。」

また、三月十六日、第三十二代業務隊長に築山二佐が着任した。築山二佐は「支援任務を完遂し頼りがいがある業務隊の育成」を統率方針として「各種業務の明るく前向きに」を要望事項として、任務完遂に邁進すると訓示した。

# 第102施設直接支援大隊



格闘訓練成

二月十六日から二十八日まで、座間駐屯地において、大隊格闘集合訓練を実施した。教官一名、助教二名で実施した本訓練では、各中隊の格闘訓練基幹要員十二名に対し格闘練度の向上を図るとともに、後方支援隊格闘練成集合訓練への参加に必要な技術を習得させた。併せて、三名が準特級を修得した。



整備実習



開始式

一月六日から三月十八日までの間、陸士特技課程「施設機械整備」を実施した。この教育は、東部方面管内の施設整備に携わる陸士に対し、三モスを付与するために実施するもので、大隊内だけでなく、旅団管内、古河支処等からも被教育者が集まった。教官一名、助教五名で実施した本教育では、被教育者十五名に対し、ジーゼルエンジン及び施設器材の整備に関する知識を付与するとともに、実習を行い、技術の向上を図った。

# 第101施設器材隊



隊容検査 (部隊装備火器)



RC基礎部の構築

二月三日から七日までの間、特殊器材中隊訓練検閲を実施した。

当初、古河駐屯地において「応急出動準備」の状況及び出動前の隊容検査により中隊の任務に臨む姿勢を、その後、車両行進により朝霞駐屯地に進入させ「集結地の占領」「自衛警戒戦闘」の一連の行動を確認した。

また、「重要施設の防護」及び「RC基礎部の構築」の任務を付与すると、中隊は、LP2重構造による監視用掩体及び二段二列蛇腹鉄条網による障害を構築して防護態勢を確立させるとともに、適切な工程管理・品質管理でRC基礎部を構築し、所定の時期までに任務を完了した。この間、至近距離射撃の練度についても評価し、進歩向上を促した。



着任式



隊内巡視

三月一六日、辻本二佐が、第二十三代第一〇一施設器材隊長として着任した。

辻本二佐は、着任の辞において統率方針を「任務完遂」要望事項を「克己・協力」と要望した。

また、引き続き隊本部幕僚による状況報告を受けるとともに初度巡視において、各中(付)隊等の勤務場所・各営内居室・倉庫等を確認するとともに隊員を激励し、器材隊の現況を把握した。

# 第337高射中隊



第3位に入賞

三月、第二高射特科群持続走及び銃剣道競技会に参加した。

持続走は第四位、銃剣道は第三位に入賞する成果であった。

限られた期間ではあったが、集中して練成した成果が発揮された。次年度は上位入賞を勝ち取ることが出来るよう、若年隊員の育成を更に強化していく。

第二高射特科群は、二月二十四日から三月一日までの間、令和元年度方面隊検閲を受閲し、中隊は同検閲に参加した。

本検閲では、航空自衛隊入間基地に展開し、第一施設団の支援を受け、積上げ式掩体を構築する等築城を強化し、与えられた首都防空の対空援護任務を完遂した。



積上げ式掩体の構築

# 第301ダンプ車両中隊

二月三日から三月二十七日までの間、中隊長以下十六名が古河駐屯地構内整備支援を実施し、駐屯地環境整備の一環として一般開放時等に休憩場所として活用するため、約二百mの遊歩道を東側外柵沿いに構築した。

本整備支援を通じ、測量能力、施設機械操作能力、施設基礎作業能力を向上させた。



遊歩道整備状況



鋼材爆破の研修

二月十六日から二十二日までの間、中隊長以下二十四名が令和元年度団集中訓練に参加し、木材・鋼材の爆破及び幹部候補生に対する爆破訓練を担当し、併せて団各部隊に対し爆破要領の展示説明等を実施した。また、団各部隊が担任する課目の研修では、爆破訓練実施に必要な知識・技能について向上させた。

# 第320基地通信中隊 古河派遣隊



回線を構成

二月二十五日から二十七日までの間、第3回大隊訓練へ参加した。今年度最後の訓練となる今回は、特に気合を入れての参加となった。

訓練では回線構成の状況が付与されたが、日頃からの練成成果を発揮し、無事に構成を完了させることができた。来年度の検閲に向けて

彼ら新配置隊員の今後の活動、活躍に期待したい。

け各人にとって実りの多い訓練となった。そして今回大きな戦力となった新配置隊員3人を紹介する。

右の写真、コスプレ好きな栗原士長(中央)アルミホイールまで食べる柳1士(左)酔を直で飲む人間中川1士(右)だ。



古河派遣隊の新戦力

# 第341会計隊

【転入者】  
 契約係長 長田3曹 (滝ヶ原会計隊から)  
 経費係長 石原3曹 (北富士派遣隊から)  
 給与係 寺本士長 (337高射中隊から)

【転出者】  
 給与班長 富嶋2尉 (東方会計隊本部へ)  
 契約係長 佐藤1曹 (第406会計隊へ)  
 会計係長 石川3曹 (東方会計隊本部へ)



齋藤士長



灰野3曹

2月1日から2日の間、朝霞駐屯地において会計実務競技会が実施された。

初日の午前中は、初・中・上級に分かれ会計業務の試験を、午後は持続走競技会個人走を、2日目は、各会計隊から選抜されたチームで断郊走を実施し、皆それぞれの力を出し切った。

中でも齋藤士長が女性自衛官個人走の部で見事優勝。また、霞ヶ浦派遣隊の灰野3曹も3位入賞と、隊の成果に大きく貢献した。